

大会参加チームの皆様

本日の大会における確認事項について

＜特に注意すべき事項＞

1 危険なプレイの禁止について

- ① 攻めるプレイヤーが、相手にぶつかったり、狭い所を直進したりするなどのプレイ
- ② 守るプレイヤーが、相手をつかんだり、倒したりするなどのプレイ
- ③ スライディングやダイビングをするなどのプレイ

2 フェアプレイ精神について

- ① タグをとる際は大きな声で「タグ」と言い、タグを頭上にかざす。その後、タグを手渡しして返す。→できないとタグの回数をカウントされない場合があります。
- ② タグを取られたプレイヤーは直ちに前進を止め、ボールをパスする。(3歩まで進んでよいということではない)
→オーバーステップという反則になる場合があります。
- ③ トライはボール保持者の身体全部がトライゾーンに入り、ボールを置く。
→トライを認めず、やり直しをさせます。
- ④ 飛び込みトライは、危険なプレイとして禁止とします。
→トライを認めず、やり直しをさせます。
- ⑤ 応援や指示は、選手のがんばりを認め、称賛する声掛けを行う。
→大人は子供の鏡です。
- ⑥ レフリーの判定を遵守し、判定に対してプレイヤーも応援者も文句を言わない。
→レフリーは実態に応じて、レフリング基準を設定し公平にジャッジします。

3 選手の交代について

- ① 選手の交代は何度でも可能とし、全員を試合に出すよう配慮する。予選リーグは攻守交代時を可能とする。決勝リーグは以下の時のみ可能とする。
・ポイント（トライ）後 ・ハーフタイム開始時 ・負傷でゲームが中断した時

4 タッチジャッジについて

- ① 試合終了後、同コートにおける次の試合のタッチジャッジを、原則、チームから一人ずつ出す。チーム事情等で困難な場合は、レフリー等に御相談ください。

5 集合について

- ① 試合は、配布されているスケジュール表通りに行く。開始時刻の前までに指定されているグラウンド（A～D）に集合する。（目安は、前の試合が始まる頃）
- ② ビブスの色が重複した場合や同系色のユニフォームの場合は、レフリーの判断で、チームの区別ができるよう適切に対応する。

6 熱中症対策

- ① 試合中は熱中症予防の観点から、プレイヤーは原則、マスクを外してプレイするよう指導する。